

2022年9月9日(金) ポスター会場(2F桜1)

16:00 ~ 17:00 ポスター発表 P1 (A)

依存と薬理

座長：船田正彦(湘南医療大学薬学部)

P1-1 プロテインホスファターゼ阻害薬はアルコール依存の治療薬になりうるか
水尾圭祐、山口智佳、渡邊 智

札幌医科大学法医学講座

P1-2 覚醒剤メタンフェタミンによる記憶障害とメカニズム解明
楠井優香、徳原伶香、泉尾直孝、新田淳美

富山大学大学院医学薬学研究部 薬物治療学研究室

P1-3 マウス大麻離脱時における睡眠の変化
浅野昂志¹⁾、竹本弘樹¹⁾、徳竹伯洸¹⁾、堀田朋弥¹⁾、泉尾直孝¹⁾、望月貴年²⁾、
新田淳美¹⁾

1) 富山大学学術研究部薬学・和漢系 薬物治療学研究室

2) 富山大学学術研究部理学系

16:00 ~ 17:00 ポスター発表 P2 (A)

依存・その他

座長：森 友久(星薬科大学薬理学研究室)

P2-1 血小板活性化機構に対するエタノールとレスベラトロールの相乗効果について
の検討

江川可純、丸茂幹雄、若林一郎

兵庫医科大学 環境予防医学講座

P2-2 思春期における大麻使用とその後の双極性感情障害の発症：
系統的レビューとメタ分析プロトコル

安間尚徳¹⁾、高野 歩²⁾

1) 医療法人社団 順風会 上尾の森診療所

2) 東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 精神保健看護学分野

P2-3 AUDIT15 点以上の者の欠勤および仕事のパフォーマンス低下に基づく
労働生産性損失額の推計

吉本 尚^{1,2)}、近島博道³⁾、小島慶嗣³⁾、青島耕平⁴⁾、井上幸恵⁴⁾

1) 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学

2) 筑波大学 健幸ライフスタイル開発研究センター

3) 大塚製薬株式会社

4) クレコンメディカルアセスメント株式会社

2022年9月9日(金) ポスター会場(2F桜1)

16:00 ~ 17:00 ポスター発表 P3 (P)

行動嗜癖

座長：真栄里仁(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

P3-1 東北会病院におけるギャンブル障害治療プログラムの実践報告
金田和大、上野優菜、斎藤光央

医療法人東北会 東北会病院

P3-2 ゲーム障害を対象とした「おふらいんキャンプ」の報告
~Covid-19 感染拡大による中止を経て再始動するまで~
大越拓郎、奥山沙耶、金子大輝、小池洋一、嶋田 渉、高橋 慧、竹田瑞樹、
中村有宏、坂詰俊和、丸山千佳、樋掛尚文、村山裕子、阿部かおり、
佐久間寛之

国立病院機構さいがた医療センター

P3-3 アルコール・薬物を主訴に来院した者のギャンブル障害の併存
~SOGS・LOST を用いて~

岩見有里子^{1,2)}、常岡俊昭^{1,2,4)}、中村純子³⁾、石原里彩^{1,2)}、長塚雄大^{1,2)}、塚越拓美^{1,4)}、
橘 聡子^{1,4)}、水野有紀¹⁾、岩波 明^{1,2)}

1) 昭和大学附属烏山病院

2) 昭和大学医学部精神医学講座

3) 駒木野病院薬剤部

4) ASK

P3-4 ゲーム障害は予防が一番!~ 学校講演 Sai-DAT スタア誕生プロジェクト秘話~
奥山沙耶、大越拓郎、村山裕子、阿部かおり、佐久間寛之

独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター

P3-5 小学校におけるインターネット・ゲーム依存に関する予防教育の
効果について

橋本茉旺^{1,2)}、松下恵吏²⁾、川口智也²⁾

1) 佐賀県スクールカウンセラー

2) カウンセリングスペースやどりぎ

P3-6 我が国の若年者におけるギャンブル障害の兆候

鈴木妙実¹⁾、村瀬華子^{1,2)}、尾崎米厚³⁾、金城 文³⁾、野村和孝^{1,2)}、田ヶ谷浩邦^{1,2)}、
深瀬裕子^{1,2)}、市倉加奈子^{1,2)}、諸川 結¹⁾、佐藤璃歩¹⁾、松下幸生⁴⁾

1) 北里大学大学院医療系研究科

2) 北里大学医療衛生学部

3) 鳥取大学医学部

4) 国立病院機構久里浜医療センター

16:00 ~ 17:00 ポスター発表 P4 (P)

看護・当事者活動

座長：森 和浩(医療法人東北会 東北会病院)

P4-1 自助グループ参加が定着するための取り組みと工夫
～スタッフアンケートから見えてきたもの～
高橋千秋、重信誠司
成増厚生病院 東京アルコール医療総合病院

P4-2 アルコール依存症を配偶者にもつ夫婦のリカバリーのプロセス(第一報)
磯野洋一
金城学院大学

P4-3 文献にみるアディクション看護教育の動向
内野小百合、高橋はるな、山田志乃ぶ
防衛医科大学校医学教育部看護学科

P4-4 外来支援を行っている看護師が再飲酒を伝えられた時に抱いている感情
～異和感の対自化を用いて～
長谷川陽子、渡辺純一
公益財団法人 井之頭病院

P4-5 依存症専門医療機関の看護師による早期介入の実践報告
長 祥子¹⁾、伊禮有香里²⁾、手塚幸雄³⁾
1) 国立病院機構肥前精神医療センター
2) 国立病院機構琉球病院
3) 医療法人タピック沖縄リハビリテーションセンター病院

16:00 ~ 17:00 ポスター発表 P5 (P)

依存症の多様な切り口

座長：羽金淑江(会津西病院)

P5-1 薬物依存症者における ADHD 特性の併発頻度に関する実態調査
益山桂太郎¹⁾、波川明嗣²⁾、小野寺恵里香¹⁾、川又寛佳¹⁾、高橋洋輔¹⁾、荻野祐介¹⁾、
芦澤 健¹⁾
1) 医療法人資生会 千歳病院
2) 医療法人同仁会 向陽台病院

P5-2 薬物使用者に対する支援者のスティグマへの支援経験の影響
—全国の精神保健福祉センター職員に対する調査から—
片山宗紀¹⁾、藤城 聡²⁾、杉浦寛奈¹⁾、小西 潤¹⁾、白川教人¹⁾
1) 横浜市こころの健康相談センター
2) 愛知県精神保健福祉センター

P5-3 アルコール回復プログラム参加後の患者の心理特性
-ACT 関連因子に着目して-
漆谷紗耶、溝井啓輔、林田留巳、高橋雪輝
医療法人社団更生会草津病院

P5-4 オンライン (Zoom) を用いた減酒プログラム -Aldock オンラインを開始して-
西元祥雄、川内昭広、工藤昇馬、黒崎なな、小山田孝裕
特定医療法人大慈会 三原病院

P5-5 さいがた医療センターにおける女性プログラムの現状と課題
-『女子力』誕生秘話-
早津さやか、阿部かおり、村山裕子、佐久間みのり、浅見友美子、
佐久間寛之
さいがた医療センター

16:00～17:00 ポスター発表 P6 (P)

依存症臨床・地域活動

座長：滑川明男(せんだいG&Aクリニック)

P6-1 依存症カフェ『リフロ (relief from loneliness)』立ち上げの報告
～ 依存症に優しいまちづくりへの一助～

鈴木由紀子、古田和弘、後藤恵美

一本松すずかけ病院

P6-2 SAI-ZAP(筋トレプログラム)が睡眠に与える影響

嶋田渉太、奥山沙耶、阿部かおり、村山裕子、佐久間寛之

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

P6-3 アルコール依存症における飲酒欲求と再飲酒についての考察
- 飲酒欲求の継続時間と強さおよび飲酒欲求とストレスの関連調査 -

高橋信雄¹⁾、館花理久²⁾、塘真理子³⁾、田苗順子³⁾、木村友一³⁾、佐野香菜子³⁾、南 雅之³⁾

- 1) 東洋大学大学院 社会学研究科社会心理学専攻 博士後期課程
- 2) 特定非営利活動法人 潮騒ジョブトレーニングセンター
- 3) 医療法人社団 健仁会 船橋北病院

P6-4 アルコール依存症における注意機能

大井円香、金 泰希、石渡春花、伊藤 満、三原聡子、新谷卓弥、関本博之、氏原由紀夫、西村光太郎、湯本洋介、松崎尊信、真栄里仁、木村 充、松下幸夫、樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

P6-5 アルコール依存症の知識普及を目的とした啓発素材のマルチメディア展開
— 「手に取ってもらえる」と「映像化」 —

秋永恭良^{1,3)}、島内理恵^{1,2)}、小松重洋^{1,3)}、深瀬雪子^{1,6)}、二神啓通^{1,3,4)}、朝比奈寛正^{1,5)}、石田正之^{1,6)}

- 1) NPO法人AKKこうち
- 2) 高知大学
- 3) 高知県断酒連合会
- 4) 高知生協病院
- 5) 兵庫大学
- 6) 医療法人須藤会 土佐病院

16:00～17:00 ポスター発表 P7 (P)

ソーシャルワーク

座長：田中和彦(日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科)

P7-1 断酒学校における「家族交流会」の開催
— アルコール依存症家族の状況と家族会の活動 —

島内理恵^{1,2,4,5)}、高森 泉^{3,4)}

- 1) 高知大学
- 2) 高知県断酒新生会家族会
- 3) 岡山県津山断酒新生会家族会結の華
- 4) 【家】アルコール依存症家族グループ
- 5) NPO法人AKKこうち

P7-2 医療ソーシャルワーカー (MSW) を対象とする「依存症支援研修」の再設計に
向けて：受講後アンケート調査結果より (パート 1)

稗田里香¹⁾、伊達平和²⁾、堀兼大朗³⁾、南本宜子¹⁾、左右田哲¹⁾、野村裕美¹⁾、浅野正友輝¹⁾、上堂蘭順代¹⁾、才田靖人¹⁾、斉藤正和¹⁾、佐々木幸¹⁾、佐原まち子¹⁾、兵倉香織¹⁾、平井美奈子¹⁾、松浦千恵¹⁾、山本琢也¹⁾

- 1) 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部依存症リカバリーソーシャルワークチーム
- 2) 滋賀大学データサイエンス学部
- 3) 滋賀大学データサイエンス教育研究センター

P7-3 医療ソーシャルワーカー (MSW) を対象とする「依存症支援研修」の再設計に
向けて - 受講後インタビュー調査結果より - (パート 2)

野村裕美¹⁾、伊達平和²⁾、堀兼大朗³⁾、南本宜子¹⁾、左右田哲¹⁾、稗田里香¹⁾、浅野正友輝¹⁾、上堂蘭順代¹⁾、才田靖人¹⁾、斉藤正和¹⁾、佐々木幸¹⁾、佐原まち子¹⁾、兵倉香織¹⁾、平井美奈子¹⁾、松浦千恵¹⁾、山本琢也¹⁾

- 1) 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部依存症リカバリーソーシャルワークチーム
- 2) 滋賀大学データサイエンス学部
- 3) 滋賀大学データサイエンス教育研究センター

P7-4 職能団体によるソーシャルアクション

- 依存症支援における医療ソーシャルワーカー (MSW) の取り組み -

野村裕美、南本宜子、左右田哲、稗田里香、浅野正友輝、上堂蘭順代、才田靖人、斉藤正和、佐々木幸、佐原まち子、兵倉香織、平井美奈子、松浦千恵、山本琢也

公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部依存症リカバリーソーシャルワークチーム

P7-5 アルコール依存症におけるオンラインと対面自助グループのコミュニケーションの比較

高橋亜梨沙

医療法人社団 健仁会 船橋北病院